

今北部落有文書概要

- 1: 文書群番号 080007
- 2: 文書群名 今北部落有文書
- 3: 出所 今北村
- 4: 家業・役職等
- 5: 地名 摂津国武庫郡今北村／兵庫県武庫郡今北村／武庫郡大庄村今北／尼崎市今北／尼崎市大庄北ほか
- 6: 行政区分 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
- 7: 歴史
今北村は、市域西部、武庫川沿いに位置する。村名の史料上の初見は、慶長10年(1605)。享和～文化年間(1801～1818)には、枝村の芋村と分村出入りがあった。村高は元禄15年(1702)に567石余、その後、武庫川沿いの地に新田が開発され、天保5年(1834)の郷帳では721石余に増加している。天明8年(1788)の家数は57軒・人数279人、別に44軒・225人とある。水利は大島井組に属した。氏神は大島神社(近世には牛頭天王社)、寺院は浄土宗東光寺、浄土真宗本願寺派光宣寺。
大島神社は中世大島荘鎮守で、東大島村・西大島村の氏神でもある。
- 8: 伝来
市史編集室時代に調査済みであった本文書群を、昭和55年に今北農業会が史料館へ寄託。
- 9: 史料入手先 今北農業会
- 10: 点数 85点 (目録件数77件)
- 11: 年代 寛永13年(1636)～昭和17年(1942)
- 12: 構造と内容
本文書群は、近代以降の今北村の村政関連史料が大半であるが、検地帳・名寄帳等土地台帳、大島井組内四か村の水論関係史料など近世史料も含まれる。寛永13年(1636)青山幸成黒印鋤下年季免許状など比較的古い時代の史料も含まれている。
近代は、土地関連史料が大半で、地価取調帳・地籍簿等地租関係、共同購入簿、部落有土地売却関係等の史料がある。
- 13: 関連史料 島中勝雄氏文書、白井栄氏文書、森源逸氏文書
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央